

～ 健口と輝く笑顔のために～ ASSOCIATION 歯科衛生だより 会報

2026 August vol. **94**発行人／武藤 智美 発行／公益社団法人日本歯科衛生士会 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <https://www.jdha.or.jp/>

令和8年度定時代議員会が開催される

令和8年6月7日(日)13時30分から、ステーションコンファレンス東京にて、令和8年度定時代議員会が開催された。

はじめに歯科衛生士の倫理綱領を出席者全員で唱和し、物故会員に対する黙祷をささげた。代議員会の議長には中村昌代氏(熊本県)、副議長には米田衣代氏(奈良県)、議事録署名人には中村美智子氏(栃木県)、久本千佳氏(岡山県)が選出された。

代議員数80名中出席者75名、議決権行使2名、委任状3名の合計5名、総数80名により、定款第18条に定める総代議員の過半数以上の出席で定足数を充たし審議に入った。

はじめに、武藤会長より挨拶があった。『歯科衛生士を取り巻く環境の変化がさまざまななか、令和8年2月には75周年記念事業を無事に開催することができた。これまでの長きにわたり歯科衛生士会を支えていただいた歴代の会長および役員の皆様、それを支えている事務局の皆様、都道府県歯科衛生士会の役員の皆様、さらに真摯に歯科衛生業務に取り組んでくださっているすべての会員の皆様に心より感謝申し上げます。



令和8年度診療報酬改定では、「口腔機能実地指導科」が新設され、これに対応するため日本歯科衛生士会としての研修要綱を整備し皆様に発信した。今回の算定は私たち歯科衛生士に課せられた責任ある指導料であり、この算定に従事できる歯科衛生士を育成することは、歯科衛生士会の重要な責務であると考えている。各地域で有益な研修会を開催していただければと願っている。

また、我が国では少子高齢化が一層進展し、医療と介護の複合ニーズを有する高齢者の増加が見込まれるなか、国では攻めの予

防医療などを徹底し、健康長寿の延伸を図るとされている。まさに歯科衛生士が得意とする時代の到来を感じるなか、確実に生産者人口が減少する時代において、医療関係職種の担い手を安定的に確保・養成するための検討が始まっている。これは歯科衛生士にかぎらず、さまざまな課題や現状、そして未来を各職種で共有し、さまざまな角度からの意見交換が行われている。



会長 武藤 智美

今後も検討会は継続するが、歯科衛生士においても資質の向上や社会的な地位向上を目指すとともに、その担い手を確保し、人生100年時代である国民の口腔の健康を守り、歯科衛生士一人ひとりが責任と誇りを持って業務に励み、社会から信頼される存在であり続けるよう、本会も引き続き全力で支援し、職能の発展を後押しする存在であり続けなければならない。75周年という節目を迎え、次の100年を見据えながら、都道府県歯科衛生士会の皆様と共に未来を切り拓いてまいりたい。』

その後、第1号議案「令和7年度事業報告(案)に関する件」、第2号議案「令和7年度決算報告(案)に関する件」、第3号議案「選挙管理委員の選任に関する件」の審議があった。報告事項では、「令和8年度事業計画について」、「令和8年度収支予算について」の説明があった。ご意見やご指摘など、活発な議論が交わされ、最後に、今後、各委員会等において検討していく事項などを出席者と共有し、拍手とともに閉会となった。



災害時安否確認システム(テスト)のご案内 — 9月1日～7日 —

9月1日の「防災の日」に合わせ、日本歯科衛生士会のウェブサイト画面に、大規模災害を想定した「災害特別ページ」を掲載します。その画面から安否登録や安否確認等の練習を行うことができます。

練習画面の掲載期間は9月1日から7日までの1週間です。(期間終了後の登録データは削除されます)

災害は、いつどこで起こるかわかりません。ぜひこの機会に練習を行ってください。

また、本誌4頁に「令和8年度災害歯科保健歯科衛生士 育成研修・更新研修のお知らせ」が掲載されていますのでご一読ください。

(公益社団法人日本歯科衛生士会 災害歯科保健委員会)

令和8年度日本歯科衛生士会会長表彰授与

令和8年度定時代議員会開催に先立ち、表彰規程に基づく功労賞および永年精励賞の表彰式が行われた。今年度は功労賞16名、永年精励賞120名の方に授与された。受賞者を代表して功労賞は石井美和氏(兵庫県)、永年精励賞は大友さつき氏(岩手県)が謝辞として喜びの言葉を述べられた。



謝 辞

功 労 賞

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会 石井 美和氏

このたび、栄誉ある「功労賞」を賜り、心より御礼申し上げます。

この受賞は、これまで温かくご指導、ご支援を賜りました先輩方、兵庫県歯科衛生士会において共に研修事業に携わってくださった皆様のお力添えの賜物であり、深く感謝しております。

兵庫県歯科衛生士会の研修事業を担当して以来10年間、社会状況の変化に応じつつ、より学びやすい研修の在り方を模索してまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大時には、臨床の最前線で尽力する歯科衛生士を支えたいという思いのもと、試行錯誤を重ねながらリモート研修の実施を実現してまいりました。また、ワークライフバランスに配慮した参加しやすい研修内容への見直しや、若い世代の歯科衛生士への周知の工夫を重ねてまいりました。研修の場が、知識と技術の研鑽にとどまらず、歯科衛生士相互のつながりを深める機会となることを願っております。

今後も、さまざまな職種で働く歯科衛生士にとって実りある学びの機会をお届けできるよう、微力ながら尽力してまいります。



永年精励賞

一般社団法人岩手県歯科衛生士会 大友 さつき氏

このたびは、栄誉ある「永年精励賞」を賜り、心より感謝申し上げます。

私は歯科衛生士の資格を取得してすぐに、自然の流れで岩手県歯科衛生士会に多くの同級生と共に入会しました。県の職員として入職後、人事異動によって病院歯科、歯科衛生士養成校、保健所に勤務し、退職後には新設の歯科衛生士養成校の設立準備から携わりました。歯科臨床や教育では、歯科衛生士としての資質向上を目指し、上京して日本歯科衛生士会の研修会にも参加しました。ひとり職種の保健所では歯科以外の業務を行うことも多く、多職種との協働を経験しました。また、東日本大震災では、歯科医師会と一緒に被災地に出向き、日本歯科衛生士会から多大な応援をいただきながら、初めて災害歯科保健活動に携わりました。私は期せずして、臨床、教育、行政の場で従事する機会がありましたが、歯科衛生士会の諸先輩方、分り合える仲間がいて、長く続けることができたと思います。若い方々にも是非とも歯科衛生士会の魅力を伝えつつ、微力ながら歯科衛生士の資格を今後も生かして参りたいと思います。

結びに、日本歯科衛生士会の益々のご発展を祈念し、御礼の言葉とさせていただきます。



功 労 賞 (敬称略)

小野 淑子(山形県)

岡本 香(神奈川県)

石井 美和(兵庫県)

楠田 美佳(熊本県)

根目沢 葉子(茨城県)

渡邊 美幸(新潟県)

熱田 直美(兵庫県)

古嶋 暁子(熊本県)

塩谷 裕子(栃木県)

村西 加寿美(滋賀県)

三浦 留美(岡山県)

甲斐 智子(大分県)

吉田 直美(東京都)

大川 知津(京都府)

長澤 廣美(愛媛県)

野田 直美(沖縄県)

*正会員歴30年以上、役員歴が日本歯科衛生士会・都道府県歯科衛生士会を併せて10年以上ある者

(16名)

永年精励賞 (敬称略)

瀧井 百合子(北海道)	小海 之子(千葉県)	磯部 好美(愛知県)	谷口 つや子(広島県)
阿保 ひとみ(青森県)	地曳 ハルミ(千葉県)	舟橋 美千代(愛知県)	河野 恵(徳島県)
長濱 久子(青森県)	高澤 みどり(千葉県)	日高 幸(三重県)	長尾 明美(徳島県)
赤坂 幾子(岩手県)	立田 清子(千葉県)	中山 浩美(滋賀県)	坂東 弘子(徳島県)
大友 さつき(岩手県)	西山 珠樹(千葉県)	山田 純子(滋賀県)	森本 みどり(徳島県)
坂本 悦子(岩手県)	志村 佐知子(東京都)	山本 伸子(滋賀県)	横井 久美子(徳島県)
那須 錦子(岩手県)	野浦 康江(東京都)	杉原 真理子(京都府)	青木 まゆみ(香川県)
吉田 和子(岩手県)	原田 いづみ(東京都)	姫野 加津代(京都府)	荒木 早苗(香川県)
佐藤 則子(山形県)	藤井 千賀子(東京都)	藤林 由利安(大阪府)	小西 喜美枝(香川県)
會田 恭子(福島県)	吉田 直美(東京都)	三上 豊美(大阪府)	滝口 澄子(香川県)
丹野 直子(福島県)	飯澤 智子(神奈川県)	道津 和子(大阪府)	多田 奈余美(香川県)
吉野 ひろみ(福島県)	伊ヶ崎 理佳(神奈川県)	赤崎 直美(兵庫県)	本田 里恵(香川県)
村井 宗子(茨城県)	埜中 晴美(神奈川県)	阿保 美千代(兵庫県)	松尾 明美(香川県)
柿長 範子(茨城県)	長谷川 ちづる(神奈川県)	河合 由美子(兵庫県)	佐古 美紀(愛媛県)
岡野 宏子(茨城県)	八方 清美(神奈川県)	衣笠 瑞子(兵庫県)	西蔭 節子(愛媛県)
谷中 茂美(茨城県)	廣川 香(神奈川県)	楠 日出子(兵庫県)	松井 寛子(愛媛県)
根本 光子(栃木県)	松川 純子(神奈川県)	田中 さよみ(兵庫県)	大久保 昌子(福岡県)
保坂 弥生子(栃木県)	松田 啓子(神奈川県)	名村 郁美(兵庫県)	大峰 礼子(福岡県)
剣持 のり子(群馬県)	三澤 洋子(神奈川県)	西垣 友子(兵庫県)	久保山 裕子(福岡県)
田中 淳子(群馬県)	関口 恵理子(新潟県)	濱田 雅子(兵庫県)	古賀 喜久美(福岡県)
平塚 貴恵(群馬県)	永井 鈴美(山梨県)	原田 育子(兵庫県)	一ノ瀬 由香里(長崎県)
山口 文江(群馬県)	今村 和子(長野県)	前中 みつる(兵庫県)	山下 浩子(長崎県)
石川 みはる(埼玉県)	宮澤 真弓(長野県)	武田 幹子(和歌山県)	山本 美保子(長崎県)
恩田 恵(埼玉県)	宮嶋 典子(長野県)	森川 喜子(和歌山県)	倉田 菊代(熊本県)
金子 典子(埼玉県)	片口 ひとみ(富山県)	稲田 和美(島根県)	瀬戸口 晶子(熊本県)
小久保 万里子(埼玉県)	下條 美生子(岐阜県)	渡部 貴美子(島根県)	依田 育子(熊本県)
高橋 紀子(埼玉県)	鈴木 敦子(岐阜県)	延原 靖子(岡山県)	衣笠 由美(大分県)
中谷 隆子(埼玉県)	赤堀 安世(静岡県)	赤穴 悦子(広島県)	三浦 明美(大分県)
石崎 佳子(千葉県)	倉橋 美由姫(静岡県)	石田 眞南(広島県)	濱田 とみ(鹿児島県)
尾谷 始子(千葉県)	望月 和子(静岡県)	浮田 瑞穂(広島県)	大山 こずえ(沖縄県)

(120名)

*正会員歴35年以上であって、年齢65歳以上の者

歯科衛生士のための歯科診療報酬入門 2026-2027

日本歯科衛生士会が監修した、歯科衛生士のために歯科診療報酬をわかりやすく解説した書籍です。2017年の初版から診療報酬改定が行われる2年ごとに改訂し、今回で5回目の改訂になります。歯科衛生士に焦点を当て、知っておくべき診療報酬に関する知識を具体的な算定方法の事例とともに示しています。

今回の診療報酬改定では、歯科衛生士の業務として「口腔機能実地指導料」が新設されました。口腔機能に係る研修を受講した歯科衛生士が、歯科医師の指示を受けて口腔機能に係る指導を行い、情報を文書により提供した場合に算定されます。

診療報酬が歯科衛生士にどのように関わるのか、また、どのような制度であるのかを理解するために役立つ書籍です。どうぞご活用ください。



書籍の詳細はこちら



日本歯科衛生学会 第21回学術大会 スタートアップ研究集会(旧 研究討論会)のご紹介

2026年9月20日・21日に開催される日本歯科衛生学会 第21回学術大会の新たな企画「歯科衛生研究STEP-UPプログラム」の一つとして、スタートアップ研究集会を開催いたします。

本企画は、2015年から継続してきた研究討論会を前身とし、研究活動をより身近に感じてもらうとともに、これから研究を始める方など、どなたでも研究活動への第一歩を踏み出すことができるよう、「ホップ・ステップ・ジャンプ」の“ホップ”に位置づけた新たな取り組みとして実施します。初めて研究に触れる方も理解しやすいよう、「研究とは何か」「研究の方法」「倫理的配慮の基本」などについて、講義および事例紹介を通じて基礎から学べる機会としています。

初回開催となる今回は、研究倫理に関する基礎講義と、実際の倫理審査事例に基づく事例紹介を組み合わせました。臨床現場での疑問を研究へ発展させるプロセスを、実務に即した形で具体的にイメージし、理解を深められる構成としています。

本スタートアップ研究集会が、研究倫理への理解を深め、今後の研究活動の確かな第一歩を支える機会となることを期待しています。

第21回学術大会の参加者は、どなたでもご参加いただけるプログラムです。第21回学術大会参加登録は大会ウェブサイトより受付中です！

日 程 2026年9月20日(日) 16:15～17:00

会 場 レイボック ホール
RaiBoC Hall(さいたま市民会館おおみや) A会場(大ホール)

実施内容 研究を始めるための第一歩 ―研究倫理の基礎と実践―



第21回学術大会
ウェブサイト



日本歯科衛生学会
公式X

1) 基礎講義「臨床研究における研究倫理の基礎」

演者：星合 愛子(日本歯科衛生学会倫理審査委員会委員長・明海大学保健医療学部口腔保健学科)

概要：人を対象とする研究の考え方、インフォームド・コンセント、個人情報保護など、研究倫理の基本について解説します。

2) 事例紹介「倫理審査から学ぶ研究計画の実際とポイント」

演者：川野 亜希(日本歯科衛生学会倫理審査委員会副委員長・神戸常盤大学保健科学部口腔保健学科)

概要：倫理審査申請および審査過程における具体的な指摘事例をもとに、研究計画立案時に留意すべきポイントを紹介します。

(日本歯科衛生学会企画第二委員会)

速報！

日本歯科衛生学会第22回学術大会 開催日程、開催場所のお知らせ

2027年に開催する第22回学術大会は、本学会では初めての地、茨城県水戸市での開催が決定しました。共催の茨城県歯科衛生士の皆様と魅力的なプログラムを企画中です！詳細は随時お知らせしてまいりますので、どうぞご予約おきください！

開催日程：2027年9月19日(日)～20日(月祝) ※対面開催のみ **開催場所**：水戸市民会館(茨城県水戸市)

大会長：岩村 昌子(公益社団法人茨城県歯科衛生士会 会長)

令和8年度災害歯科保健歯科衛生士 育成研修・更新研修のお知らせ

被災地において活動を行う「災害歯科保健歯科衛生士」登録の要件である研修が始まります。災害の可能性は全国各地にあり、復興を支えるため、また災害関連死を防ぐためにも、歯科衛生士の活動が求められます。ぜひ研修を受講し、「災害歯科保健歯科衛生士」としての登録をお願いします。

① 新たに登録を希望する方(育成研修)

受講の手順は以下のとおりです。

- ① 所属の都道府県会に連絡し、受講推薦を依頼する。
- ② 8月下旬に所属の都道府県会からメール送信される「受講要領」に沿って準備を行う。

② 更新の方

有効期限を迎える方は、更新のため受講をお願いします。

ご自身の有効期限は、日本歯科衛生士会のウェブサイトに掲載の「登録者名簿」でご確認ください。氏名の後ろのカッコつき表示が登録年です。有効期限は名簿の冒頭をご覧ください。

育成・更新の研修受講について

- 研修はeラーニングです。
- 受講期間は9月1日(火)から10月31日(土)(期間中いつでも受講が可能)
- 受講に際しては都道府県会からメール送付される「受講要領」をよく読んで、落ち着いて正しく受講してください。

災害歯科保健活動 歯科衛生士実践マニュアル2026年度版を公開中です。「共通様式」に変更があります。ぜひご覧ください。



災害歯科保健歯科衛生士
登録者名簿



災害歯科保健活動歯科衛生士
実践マニュアル

(公益社団法人日本歯科衛生士会 災害歯科保健委員会)

令和8年度 歯科衛生士活動推進事業のお知らせ

日本歯科衛生士会歯科衛生推進委員会より、それぞれの現場で活躍する歯科衛生士が集い、
同じ目的を持った仲間との情報交換や知識の共有、交流を図る機会を企画しました。
歯科衛生士たちのタッチポイントとなるこの機会、ぜひともご参加ください！

目 的	保健医療福祉の動向にともなう歯科保健医療ニーズの変化に対応し、効果的な歯科衛生活動を実践するため、それぞれの分野で活躍する歯科衛生士への知識の提供、情報共有および交流を継続して図り、歯科衛生士の活動を推進し、国民の歯科保健医療の向上に寄与する
共 催	公益社団法人日本歯科衛生士会・東京科学大学病院歯科衛生士総合研修センター
日 時	令和8年9月19日(土) 12:30~16:45
会 場	東京科学大学湯島キャンパス(東京都文京区湯島1-5-45)
参加対象者	病院・歯科診療所・行政・在宅訪問や施設に勤務する歯科衛生士等

プログラム(予定)

時 間	内 容			
12:00	受付開始			
12:30 ~13:15	講演「歯科保健医療の動向(仮)」 講師 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 小嶺祐子先生 (会場:3号館2階 医学科講義室1)			
13:15 ~13:40	休 憩(会場移動)			
13:40 ~16:45	各委員会主催プログラム(グループワーク・協議会・交流会等)			
	病院委員会 【全国病院歯科衛生士 連絡協議会】 (定員:50名)	診療所委員会 【交流会】 (定員:50名)	地域歯科保健委員会 【行政歯科衛生士 研修会】 (定員:50名)	在宅・施設 口腔健康管理委員会 【交流会】 (定員:50名)
	会場:3号館2階 医学科講義室1	会場:3号館18階 保健衛生学科講義室1	会場:3号館3階 医学科講義室2	会場:3号館7階 保健衛生学科講義室4
	テーマ 「“なんとなく指導”からの卒業~歯科衛生士ラダーで整える新人教育~」  全国病院歯科衛生士 連絡協議会 https://hospitaldentalhygienist919.peatix.com	テーマ 「目指せ! 専門歯科衛生士 Part2」  診療所歯科衛生士等 交流会 https://jdha-shinryoujo0919.peatix.com	テーマ 「中堅期の先輩の取り組みを聴く~新任期から少し先の未来へ先輩が語る施策づくり~」  行政歯科衛生士 研修会 https://jdha-gyousei919.peatix.com	テーマ 「在宅訪問をしている歯科衛生士を取り巻く現状~歯科衛生士ラダーの活用~」  在宅訪問や施設に勤める 歯科衛生士交流会 https://jdha-zaitakusisetu0919.peatix.com
16:45	終 了			

参加申し込みについては、日本歯科衛生士会ウェブサイトにてご確認ください。皆様の参加をお待ちしております。

公益社団法人日本歯科衛生士会

歯科衛生士のための口腔機能実地指導研修要綱が公開される

令和8年度診療報酬改定で新設された「口腔機能実地指導料」は、口腔機能に係る研修を受講することが算定要件となっている。この研修は、歯科医師又は歯科衛生士を主体とする団体又は学会等が主催する口腔機能発達不全症及び口腔機能低下症の概要、検査法、訓練法及び実地指導方法等(入院患者や在宅・施設療養患者への対応を含むものであること。)に係るものとされている。

日本歯科衛生士会では、都道府県歯科衛生士会が開催する研修が、歯科衛生士の職能団体として均てん的に提供できるよう、研修要綱を作成し4月24日に都道府県歯科衛生士会と共有した。

要綱の一部を抜粋して紹介する。

対象者・研修方法

対 象 者：臨床で口腔機能実地指導を実践する・実践しようとしている歯科衛生士

研修方法：集合型研修(原則、対面とする。ただし、やむを得ずWEB開催する場合は、受講確認などの事項を遵守する)

研修時間：180分以上とする。

研修会講師

歯科医師・歯科衛生士の講師資格について、下記のいずれかに該当するもの

講師A：日本小児歯科学会専門医・認定医資格を有するもの

講師B：日本老年歯科医学会専門医・認定医もしくは摂食機能療法専門歯科医師の認定資格を有するもの

講師C：日本歯科衛生士会認定分野A 摂食嚥下リハビリテーション、在宅療養指導・口腔機能管理、医科歯科連携・口腔機能管理のいずれかの認定取得者で口腔機能低下症または口腔機能発達不全症に対する実践があるもの

講師D：日本歯科衛生士会認定分野B 老年歯科、日本小児歯科学会認定歯科衛生士いずれかの認定取得者で口腔機能低下症または口腔機能発達不全症に対する実践があるもの

*上記資格をもつ講師A～Dそれぞれを組合せて2名以上が講師を務めること。ただし、講師Aまたは講師Bを含むこと

例1) 講師A+講師B+講師C+講師Dそれぞれ1名ずつ

例2) 講師A+講師B+講師C+講師Dそれぞれ1名ずつ

例3) 講師Aor講師B+講師C+講師D など

研修項目

- (1) 口腔機能発達不全症及び口腔機能低下症の概要
 - 口腔機能の基礎知識
 - 口腔機能発達不全症および口腔機能低下症の定義と診断
- (2) 口腔機能発達不全症及び口腔機能低下症の検査法
 - 口腔機能検査法について

(検査法の詳細については、日本歯科医学会「口腔機能発達不全症に関する基本的な考え方」および「口腔機能低下症に関する基本的な考え方」参照)
- (3) 口腔機能発達不全症及び口腔機能低下症の訓練法
 - 口腔機能管理計画について
 - 口腔機能訓練法
 - ① **口腔機能発達不全症**

「食べる」機能：咀嚼機能・嚥下機能・食べ方などに対する訓練

「話す」機能：構音機能などに対する訓練

「その他」の機能：呼吸の状態などに対する訓練 など

(各訓練の詳細は、日本歯科医学会「口腔機能発達不全症に関する基本的な考え方」を参照)
 - ② **口腔機能低下症**

口腔機能低下症の7つの症状(口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下)に対し、適応する機能訓練

(各訓練の詳細は、日本歯科医学会「口腔機能低下症に関する基本的な考え方」を参照)

* (3) については、居宅、病院、施設における訪問診療時の口腔機能訓練に関する内容を含むこと
- (4) 口腔機能発達不全症及び口腔機能低下症の実地指導方法(実践例等含)
 - 再評価の時期と評価法について
 - 口腔機能管理指導法
 - ① **口腔機能発達不全症、口腔機能低下症いずれも全身状態や生活背景、発育状況なども含めてアセスメントする**
 - ② **検査結果に基づいて、発達不全あるいは機能低下の要因を分析し、適応ある訓練法を選択する**
 - ③ **①および②を総合して、現実的に実践可能な訓練法や生活面への指導を行う**

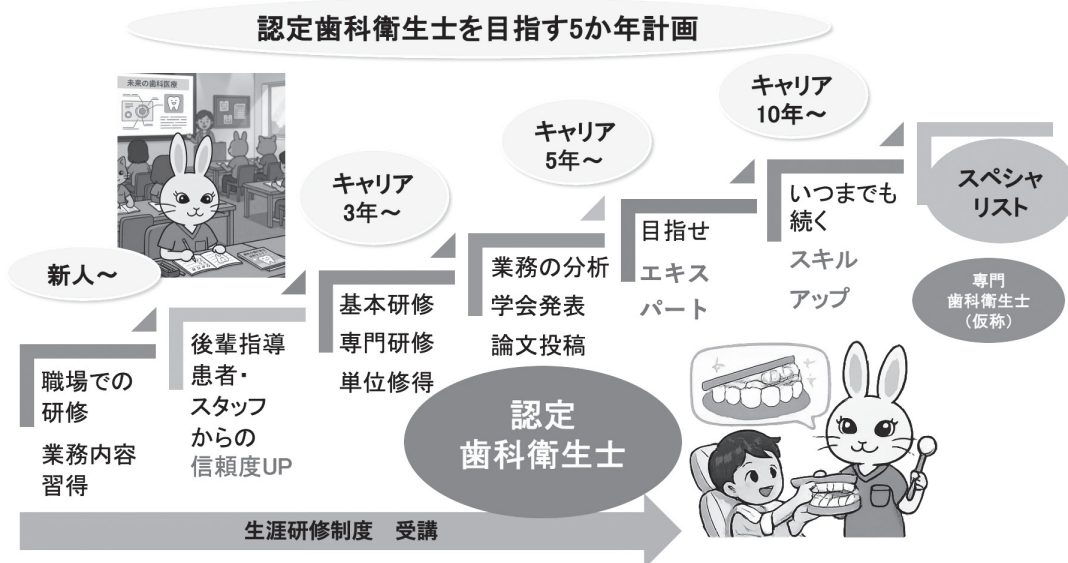
(認知機能などの理解力に配慮することや、個々の生活習慣を踏まえた指導を行い、行動変容につなげる)

* (4) については、居宅、病院、施設における訪問診療時の口腔機能指導方法に関する内容を含むこと

今回の診療報酬は私たち歯科衛生士に課せられた責任ある指導料であり、これに対応できる歯科衛生士を育成することは、歯科衛生士会の重要な責務であると考えている。「施設基準のための研修会」であると同時に、「適切な指導ができる歯科衛生士を育成する研修会」と捉え、各地域で有益な研修が提供されることを願っている。

認定歯科衛生士を目指す5か年計画

自分のスキルに、もっと自信をもちたいあなた！
専門性の向上、プロフェッショナルとしての誇りや働きがいを広げていきませんか。



認定歯科衛生士を取得するには
取得したい認定分野を見据えて
研修単位を積み上げていきます！

認定分野に迷ったら
生活習慣病予防や歯科医療安全管理
から始めましょう

生涯研修制度

基本研修

臨床研修コース、リフレッシュコース、特定コースがあり、その中から効率よく単位を修得し、1コース15単位を積み上げる。

特別研修

本会指定の教育研修機関等の受講および学会等への参加、発表、論文掲載等。自己申告による。

指定研修

4年制大学、大学院課程、専攻科および臨床研修課程等を修了。自己申告による。

日本歯科衛生士会 認定分野

認定分野A

歯科衛生士業経験3年以上(実務経験1年以上含む)
以下6コースで指定された研修単位等を取得

本会の生涯研修制度における研修履歴に基づき、受講基準を満たすと認定研修の受講資格となる

- 生活習慣病予防(特定保健指導・食生活改善指導担当者研修)
- 摂食嚥下リハビリテーション
- 在宅療養指導・口腔機能管理
- 糖尿病予防指導
- 医科歯科連携・口腔機能管理
- 歯科医療安全管理

認定分野B

歯科医療の特定の専門分野において高度な知識・技術が必要とする分野であり、関連する専門学会等との連携により特定する分野

- 障害者歯科(公益社団法人日本障害者歯科学会)
- 老年歯科(一般社団法人日本老年歯科医学会)
- 地域歯科保健(一般社団法人日本口腔衛生学会)
- 口腔保健管理(一般社団法人日本口腔衛生学会)
- う蝕予防管理(特定非営利活動法人日本歯科保存学会)

認定分野C

研修指導者・臨床実地指導者等講習会を修了し、本会の認定歯科衛生士制度における認定分野Aまたは認定分野Bのうち1分野以上認定証を有する方

詳しくは公益社団法人日本歯科衛生士会ウェブサイト
右記二次元コードより「認定歯科衛生士について」を
ご確認ください。



事務局長就任挨拶



あき たか ひこ
事務局長 秋山 雅彦

7月1日付にて事務局長に就任いたしました秋山です。
微力ではございますが、本会のさらなる発展と会員の皆様のサポートに全力を尽くす所存です。
何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

厚生労働省補助事業

令和8年度 歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会
オンライン講習会 受講生募集受講料：無料
会員外の方も参加できます

新人・復職歯科衛生士への指導に、こんなお悩みはありませんか。
「どう教えたら伝わるの?」「研修プログラムは何から作ればいい?」
「教わる立場」から「教える立場」へ変わると、多くの歯科衛生士が同じ壁に直面します。

本研修では、新人・復職歯科衛生士の育成に必要な「伝え方」「関わり方」「研修プログラムの組み立て方」を、実践的に学ぶことができます。さらに、ワークショップでは、同じ悩みを持つ参加者同士で交流できることも魅力です。一人で抱え込まず、一緒に学び、考えてみませんか? オンライン開催(2日間)のため、全国各地、自宅や職場から気軽に参加可能です。

現在、指導に悩んでいる方はもちろん、これから新人・復職歯科衛生士を迎える予定のある方もぜひご受講ください。

なお、本会認定歯科衛生士(認定分野AおよびB)取得者で本講習会を修了した方は、認定分野Cの申請が可能です。

詳細・お申込みは、右記二次元コードより本会ウェブサイトをご確認ください。

研修日程	第1回	令和8年9月5日(土)～6日(日)
	第2回	令和8年11月22日(日)～23日(月・祝)
	第3回	令和8年12月5日(土)～6日(日)
	第4回	令和9年1月30日(土)～31日(日)

修了生の皆様へ

対面フォローアップ講習会(仮)を開催予定です。詳細は今後お知らせします。ウェブサイトをご覧ください。



日本歯科衛生士会
ウェブサイト

Linking JDHA to IFDH

『International Journal of Dental Hygiene』



本会では、国際歯科衛生士連盟が発行する学術誌『International Journal of Dental Hygiene(IJDH)』を購入しています。会員の皆様にはIJDHが無料公開されているウェブサイトから直接アクセスできるように、二次元コードを公開いたします。

有料の部分については、IJDHを本会で閲覧することができます。国際協力委員会までお申込みください。(FAX 03-3209-8023)

国際歯科衛生誌

2026年5月 第24巻2号

本号は、11編の原著論文と3編のレビュー論文、計14編で構成されています。成人矯正患者の口腔衛生改善に向けた3種の異なるアプローチの比較や、ビデオを活用した口腔衛生教育の効果など、矯正治療中の患者指導に役立つ研究が複数掲載されています。またレビュー論文では、歯周炎と心血管疾患との関連や、糖尿病が歯周治療の転帰に与える影響についての最新エビデンスも確認できます。

本号に掲載された論文のうち8編は無料で閲覧が可能です。アブストラクトだけでもぜひ一読いただき、世界各国の口腔保健に関する幅広い研究にふれていただければと思います。

※最新の情報をお届けするため、Instagramで先行発信を行っています。本会公式アカウントをフォローしてご確認ください。

(国際協力委員会 茨木 浩子)

IJDH
第24巻2号



JDHA公式
Instagram



@JDHA.OFFICIAL

理事会報告

令和8年度第1回理事会が令和8年5月17日(日)に開催された。審議事項と報告事項は次のとおりである。

審議事項

- (1) 令和7年度事業報告(案)について
- (2) 令和7年度決算報告(案)について
- (3) 令和7年度事業報告に係る提出書(内閣府)について
- (4) 選挙管理委員の選任(案)について
- (5) 令和8年度会長表彰について
- (6) 令和8年度「地域歯科衛生士活動」助成事業について
- (7) 生涯研修委員会、病院委員会委員の委嘱について
- (8) 第11回日本口腔外科学会総会・学術大会「第18回歯科衛生士研究会」について
- (9) 令和8年度 歯科衛生士活動推進事業開催要領(案)について
- (10) 令和8年度 医科歯科連携・口腔機能管理コースプログラム及び講師について
- (11) 認定歯科衛生士PR動画について
- (12) 口腔機能実地指導研修会要綱について
- (13) 日本補綴歯科学会登録歯科衛生士制度(案)について
- (14) 日本歯周病学会令和9・10(2027・2028)年度5項理事の推薦について
- (15) ウェブサイト変更案について
- (16) キャラクター名称案について
- (17) 新入会員の承認について
- (18) 賛助会員の承認について
- (19) 事務局長の交代について
- (20) その他

報告事項

- (1) 会務報告
 - ①業務執行理事等の職務執行報告
 - ②常任委員会等の報告
- (2) 監査実施報告
- (3) 地域歯科保健活動実施状況調査報告書(令和6年度版)
- (4) 令和8年度歯と口の健康週間

- (5) 就業相談対応者講習会受講者アンケート報告
- (6) 令和7年度研修指導者・臨床実習指導者等講習会修了者情報交換会アンケート報告
- (7) 令和7年度医療施設運営費等補助金「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」の実績報告
- (8) 令和8年度医療施設運営費等補助金「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成中央研修事業」の実施団体公募の応募
- (9) 令和7(2025)年度第2回歯科衛生士学術活動支援ワーキンググループ報告
- (10) ICTを活用した歯科診療等の調査検証事業報告
- (11) 令和7年度 第3回 歯科保健医療情報サイトの在り方検討委員会報告
- (12) 「歯科衛生士による浸潤麻酔の実施に向けた研修プログラム作成のための研究」研究班報告
- (13) 歯科衛生士の人材確保実証事業検討委員会報告
- (14) DH・KEN購入通知メール誤送信に関する報告
- (15) 歯科医療振興財団令和7年度第3回理事会報告
- (16) 歯学系学会合同脱タバコ社会実現委員会報告
- (17) 第35回歯科衛生士国家試験の実施状況
- (18) 後援名義使用及び生涯研修制度の研修単位認定
- (19) 外部事業委員会委員の推薦等
 - (一財) 歯科医療振興財団 歯科衛生士国家試験制度改善検討部会委員
 - 令和8年度愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター運営会議オブザーバー
 - 厚生労働省委託事業「歯科専門職の業務の普及啓発事業」委員会委員
- (20) 第1回医療関係職種との安定的な養成・確保に関する検討会
- (21) 事務局職員の辞職・採用
- (22) その他
 - 代議員会役割分担